

地域企業・産業資料デジタルアーカイブについて

- (1) このデジタルアーカイブは、東京大学経済学図書館が所蔵する地域企業・産業資料のうち、印刷物および近代の文書類について順次デジタル化をすすめているものです。
- (2) このデジタルアーカイブの利用に際しては「[東京大学経済学図書館電子資料利用規則](#)」に同意したものとみなされます。
- (3) 印刷物など他媒体への使用については、東京大学経済学図書館までお問合せください。
- (4) 画像は白黒です。画像の撮影には文字が視認できるよう十分な注意を払っていますが、資料の欠損、変色、褪色等の劣化や、ノド部分の状態によっては、原本の文字が全て写っていないものがあります。これらについては資料の原形を保ちつつ、出来る限りの範囲で撮影したものととして了解下さい。写りの悪い資料については、東京大学経済学部資料室にて、所定の手続きにより原本の閲覧をお願いします。
- (5) 本アーカイブに関する質問等については、東京大学経済学部資料室までお問い合わせ下さい。
- (6) 本デジタルアーカイブの一部は、独立行政法人日本学術振興会平成 27 年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）課題番号 15HP8021 の交付を受けて作成しています。

産業關係

工務主

○新工場建設用ニセメント、ガラス、砂、煉瓦等諸材料ノ多量ヲ要
ニ付、鑛滓バラス、鑛滓煉瓦ハ簡單ナル設備ヲ以テ製造スル方
利ナル場合ハ豫メソノ設備ヲ為ス必要アルニ付更ニ研究スルコト、セ
○八幡ノ實績ニ基キ右ノ如キ諸材料ノ所要量ヲ算出センニ最後ノ別
ノ如シ。

○廣畑ノ場合ハ鑛滓製品ノ販路ヲ考ヘラル、ウ以テ、今回ノ計畫ニハ極
之ヲ掲ゲオクヲ可トスベシトハ八幡實業部ノ意見ナリ。
此場合設備費

| | | |
|--------|---------------------|-------------|
| 高爐セメント | 年産ニ五〇、〇〇〇、〇七工場 | 約六、〇〇〇、〇〇〇円 |
| 鑛滓煉瓦 | 日産五〇、〇〇〇、一六〇、〇〇〇工場約 | 四〇〇、〇〇〇、〇〇〇 |
| 鑛滓バラス | 年産一〇〇、〇〇〇、三三三工場 | 二〇〇、〇〇〇、〇〇〇 |
| 計 | | 六、六〇〇、〇〇〇 |

ヲ要スベシト言フ。

○廣畑新工場建設用耐火煉瓦ヲ自給セントスル場合ノ假工場建設費
ニ就テハ八幡實業部案アレドモ、煩ヲ避ケテ詳細ヲ記サズ。當ソ
概要ヲ掲ゲテ參考トス。コレ輪西新工場ノ場合ニ於テモ考慮ヲハ
スレバナリ。

| | | |
|---------|-------------|------------|
| 所要煉瓦、粉末 | 煉瓦 三、一六〇、〇七 | 計 三、一六〇、〇七 |
| | 粉末 六、二〇〇、〇七 | |

右ヲ三ヶ年間ニ製造スルトシテ

| | |
|---------|---------|
| 粉碎、混煉設備 | 四二、〇〇〇円 |
| 成形設備 | 一〇、〇〇〇 |
| 乾燥、燒成設備 | 一三〇、〇〇〇 |
| 建物、倉庫 | 八八、〇〇〇 |
| 計 | 二九〇、〇〇〇 |

但敷地代、地均費、引込線路費、變壓設備等ハ含まズ

○八幡製業部ニ別ニ廣畑ニ煉瓦工場ヲ設ケ、塔鑛炉々体用粘土
 瓦、コークス炉々体用主要磁石煉瓦及平炉々体用主要磁石煉瓦
 日鐵トシテ標準化シ安價ニ供給シ且品位ノ向上ヲ圖ルヲ適當トスル
 非ルカ、即チコノ中央製造供給工場ヲ八幡トセズシテ磁石運搬ニ便ナ
 廣畑ニスルモ一策ナラントスルノ意見アリ。参考迄ニ記シテ。

一、輪西新工場製業設備

他社トノ關係モ下リテ考究中ナリ。若シ建設用煉瓦ヲ自給スルトセバ
 八幡ニ其ノ能力ナキコト勿論ナルヲ以テ、前記ニヨリ約三〇、〇〇〇円ヲ
 スベシ。

然レモ塔鑛炉用石灰石ノ破碎設備、製鋼工場用石灰石及苦灰石焙焼
 備ハ何レモ必要トス。但石灰石ヲ山元ニ於テ適當ノ大サハ破碎シ
 場合ハ破碎設備ハ不要トス。仍テ之ハ輪西側ニ於テ研究スルコトセリ。

(a)石灰石破碎設備費(八幡製業部兼)

| 種別 | 年所要量 _t | 原石年破碎量 _t | 一時間倉石破碎量 _t |
|---------|-------------------|---------------------|-----------------------|
| 塔鑛炉用石灰石 | 三〇〇、〇〇〇 | 三三〇、〇〇〇 | 一〇〇 |
| 平炉用生石灰 | 三五〇〇〇 | 六五、〇〇〇 | 一八 |
| トロイト | 一八、〇〇〇 | 二八、〇〇〇 | 九 |
| 計 | 三五三、〇〇〇 | 四一八、〇〇〇 | 一二七 |

而テ右設備費ハ

| | | |
|---------|----|---------|
| 破碎機 | 二台 | 六〇、〇〇〇円 |
| 建築物 | 一式 | 八〇、〇〇〇 |
| 原石荷揚起重機 | 四台 | 一六〇、〇〇〇 |
| 輸送機 | 一式 | 一〇〇、〇〇〇 |
| 其他 | 一式 | 一〇〇、〇〇〇 |
| 計 | | 五〇〇、〇〇〇 |

ヲ必要トスベシト言フ。勿論右ハ担当者充實セル設備ナレバ、方法ニヨリテハ

概額を得べきモノ不勘ト察セラルル

尚石灰石及苦灰石焙焼設備ニ就テハ製鋼設備主任ニ於テ研究中ナレバ別ニ立案セラルベキモ、大体ニ於テ此等ノ設備ニ對シテハ可及的経費ヲ少トスル方針ニ一致セリ。

(山)石灰 苦灰石焙焼工場建設豫算 (八幡実業部案)
年間所要量ハ前項ニ掲ゲテリ。
次ニ以等ノ焙焼設備費ハ左ノ如シ

| | | |
|------|------------|----------|
| 焙焼窯 | 能力一基ニ五七×五基 | 五〇,〇〇〇円 |
| 輸送設備 | 一式 | 六〇,〇〇〇円 |
| 貯藏槽 | 一式 | 三〇,〇〇〇円 |
| 建物 | 一式 | 六〇,〇〇〇円 |
| 計 | | 二〇〇,〇〇〇円 |

(山)苦灰石焙焼工場分

| | | |
|------|-------------|----------|
| 焙焼窯 | 能力一基(八七×三基) | 三〇,〇〇〇円 |
| 輸送設備 | 一式 | 三〇,〇〇〇円 |
| 破碎設備 | 一式 | 一五,〇〇〇円 |
| 混和設備 | 一式 | 一五,〇〇〇円 |
| 貯藏槽 | 一式 | 二〇,〇〇〇円 |
| 建物 | 一式 | 四〇,〇〇〇円 |
| 計 | | 一五〇,〇〇〇円 |
| 合計 | | 三五〇,〇〇〇円 |

ニ耐火煉瓦、生石灰、ドロコイト所要量

参考ノ為本店監理部荒川技師ガ八幡ノ実績ヲ基礎トシ新工場ノ産ヲ年間

銑 鐵 七〇〇,〇〇〇円

鋼材 五〇〇、〇〇〇、〇
 銅材 四〇〇、〇〇〇、〇
 セメント 二〇〇、〇〇〇、〇
 トセル場合作業用耐火材料ノ年間所要量ハ

耐火煉瓦(各種) 二〇、九〇〇、〇
 耐火粉末 六、三〇〇、〇
 生石灰 二、六〇〇、〇
 トロマイト 一〇、〇〇〇、〇
 マグネシヤ 三、〇〇〇、〇

ナラント豫想セリ

輪西新工場ハ付容大ニシテ製品種別比較的單純ナルノ見込ナレバ、作業ハ
 順調ニ進メハ所要量ハ八幅ノ実績ヲ以テ推算セルモ、ヨリモ少クルベキモ、従来、
 員ノ熟練度、設備ノ新現等ヲ考へ幾分餘裕ヲ見ルヲ至當トスベリ、且新

工場能力七綱塊ハ年六〇〇、〇〇〇トシテ考へオクテ可ナリト考へラル、ニコリ
 前記ハ幾分増スモノトスル方安全ナラン。

〔別表〕

建設用工事材料所要高見込(八幅実績ヨリ推算)

| | |
|------------|----------------|
| セメント | 一六三、六七〇、七 |
| 川砂 | 二三〇、五三二、五米 |
| 砂利 | 六、一七二、二〇〇 |
| 豆砂利 | 八二、二三〇、〇 |
| 鑛滓バラス(一〇号) | 三八、六九三、〇 |
| 〃(三号、五号) | 一、七二二、二六九、〇 |
| 鑛滓煉瓦 | 三、一〇八三、六〇〇、〇 |
| 赤煉瓦 | 一、三、四、四一、五六〇、〇 |

(以上)